

令和5年度 事業計画

【公益目的事業1】

植村直己の業績についての展示公開に関する事業(定款第4条第1号事業関係)

(1) 植村冒険館の管理運営

① 植村冒険館の運営及び施設管理

所在地 東京都板橋区加賀1-10-5

(区立植村記念加賀スポーツセンター内)

3階/常設展示・企画展示・どんぐり文庫 216.0㎡

2階/大型パネル展示(プールギャラリー壁面を利用)

1階/ウエムラチャレンジベース 67.0㎡

(シンボル展示犬ぞり・展示スペース・ブックスペース)

階段/言葉の回廊

開館時間 3階・1階/10:00~18:00

※ 3階展示室の入室は17:30まで

※ イン트로ダクションシアターの最終上映は17:40

2階・階段/加賀スポーツセンター開館時間に準じる

入館料 無料

休館日 毎週月曜日、年末年始(12/29~翌年1/4)

※ 月曜日が休日の場合は開館し翌火曜日が休館

② 広報と情報の発信

ア 植村冒険館機関誌「通信 植村冒険館 Adventure forum」の発行

・年1回 4,000部作成

イ ホームページの維持管理

・施設情報、事業案内、参加者募集・活動状況の周知

③ その他の事業

ア 来館者、メディア等への情報提供(取材・問い合わせの対応)

イ 植村冒険館友の会の活動支援

ウ 関連施設との情報交換(豊岡市植村直己冒険館、帯広野外学校、日本山岳会、全国山岳博物館等連絡会議・国立極地研究所ほか)

(2) 資料収集・保存及び調査・研究

① 資料収集・保存

・関係資料の収集・保存

・令和3年度末現在 1,868点(設立時1,604点)

② 調査研究

ア 遺品の調査研究

・装備等の使用場所の確認と記録

・オリジナル原稿(写真を含む)のデジタル化作業

イ 活動に関する調査

・植村直己の活動状況の調査及び記録整理

ウ 展示開催に必要な関連情報の調査

・企画展開催のための現地調査、冒険・登山・極地等関連情報の収集

エ 関係者への取材

- ・インタビューによる記録の保存（ビデオ撮影等）

(3) 展示公開

① 常設展示（3階）

「今も『ここ』にいる植村直己」を展示の中心的な考え方とし、冒険家・植村直己が『ここ（＝冒険館）』にいるかのような存在感を感じてもらう内容で構成している。また、植村直己を知らない世代に対して、出会ったような気持ちになる解説や演出を行っている。

② 企画展示（3階）

	内 容	期 間
継続	「メモリアル展」	令和5年1月31日（火） ～令和5年6月4日（日）
1	「セルフタイマー・ギャラリー」	令和5年6月6日（火） ～令和5年10月1日（日）
2	「極北の村 シオラパーク」 初めての単独犬ぞり行から50年	令和5年10月3日（火） ～令和6年1月28日（日）
3	メモリアル展「山頂に残された旗」	令和6年1月30日（火） ～令和6年6月2日（日）

③ 「どんぐり文庫」（3階）

冒険、探検、登山及びアウトドア活動に関する書籍、雑誌の閲覧・貸出し及び関連書籍等の整備充実を図る。

ア 図書、山岳雑誌の収集・保存・閲覧及び一部貸出し

イ 図書、山岳雑誌の購入（40冊程度予定）

ウ 山岳団体、野外活動団体等から提供された会報・情報紙、活動記録の収集・保存及び閲覧

エ 全国の博物館から提供された冊子等の閲覧

オ 収集資料のデータベース整備

④ 「ウエムラチャレンジベース」（1階）

加賀スポーツセンターの利用者に向けて、冒険やアウトドアの世界に関心を抱いてもらえる要素を展開するとともに書籍や展示内容の充実を図る。

ア シンボル展示「犬ぞり」／実物大複製

植村氏の単独冒険を象徴する道具として紹介

イ ブックスペース

アウトドアや自然に関する本、図鑑や写真集など短時間で読める分野の本を整備・公開し、閲覧等で情報提供する。

ウ 展示スペース

3階の冒険館への導入として紹介。「まずは冒険の写真を見てもらう」ことを目的に、また企画展示との連動を図った展示とする。

⑤ 加賀スポーツセンター内のその他の展示

ア 2階パネル展示（2階）／大型写真の展示

イ 言葉の回廊（1～3階部分）／著作から引用した言葉の紹介（9カ所）

⑥ 植村冒険館以外で行う写真展等

ア 板橋区立八ヶ岳荘「植村直己展示室」、榛名林間学園、赤塚体育館

- ・通年（継続展示）
- イ 区内施設での出張展示（小茂根図書館／時期未定・2週間程度）
- ウ 区内小中学校での出張展示（学校との連携により年2校程度）
- エ 関連施設での出張展示（明治大学博物館）
- ⑦ 小学生対象 「地球たんけんパスポート」の発行
夏休みの自由研究向けに展示の内容に関係するクイズを設置、その解答用紙として「パスポート」を配布し解答してもらう
- ⑧ 小学生対象 「さらなる探険スタンプカード」の発行
小学生の再来館を促すため「地球たんけんパスポート」達成者にスタンプカードを発行する。（計4回の来館でオリジナルグッズを贈呈）
- ⑨ 「北極」講演会の開催（「北極クラブ」との共催事業）
「北極」テーマにした研究者を講師に招き年数回の講演会（例会）を開催している「北極クラブ」との共催で講演会を実施する。（6月頃／参加者の募集および会場の準備／募集人数100名程度）

【定款第4条第1号事業 予算の概要】

（単位：千円）

事業項目		予算額	前年度予算額	増減
植村直己の業績についての展示公開に関する事業		27,223	33,992	△6,769
内 訳	(1)冒険館の管理運営	20,631	22,850	△2,219
	(2)資料収集・保存及び調査・研究	1,499	1,490	9
	(3)展示公開	5,093	5,152	△59
	(4)周年記念事業	0	4,500	△4,500

※予備費、周年事業経費を除く。

【公益目的事業2】

自然への関心を高めるための実体験事業(定款第4条第2号事業関係)

- (1) 自然塾の実施（小・中・高校生対象の実体験事業）

登山やキャンプ等の野外活動を通じて、技術や自然の中で生活する知恵を習得することで、困難を克服するチャレンジ精神や、自然を大切に作る豊かな心を醸成する。

ア 事業回数 14回 参加予定人数 276人

イ 内 容

マウンテンバイクツーリング、1DAY冒険ハイク（岩登り・ヤブこぎ）、八ヶ岳荘の利用（登山、スキー）、海キャンプ、フィッシングでサバイバルキャンプ、オーバーナイトウォーキング（30km、50km）、イグルー作り

【親子プログラム】富士山麓で冒険トレック

【継続プログラム：小学生対象】ステップアップアドベンチャー4回

- ①キャンプスキルの習得、②テント泊とカヌー、③ロープワーク、④野宿に挑戦！

(2) アドベンチャー講座等の実施

① アドベンチャー講座

成人を対象とした自然体験（登山）講座を実施し、自然の中における活動の場を提供することで、自然との関わり方を体得する機会とする。

ア 事業回数 4回 参加予定人数 96人（各回定員24人）

イ 内 容

赤城山、立山・室堂、八ヶ岳東天狗岳・根石岳、磐梯山・裏磐梯

② やさしい日帰り登山講座

初心者（小学生以上を対象）でもやさしく登れる低山を選定し、実践を通じて登山の基礎知識やマナーを習得してもらう。都会では味わえない登山の楽しさや魅力に気づき・発見し、継続的に登山をしてもらうための機会を提供する。

ア 事業回数 2回 参加予定人数 40人（各回定員20人）

イ 内 容

大山（阿夫利神社）、高水山（奥多摩）

③ 例月日帰り登山教室

初心者を対象に、定期的に登山教室を予定し、だれでも気軽に登山を楽しめる環境を提供する（自由参加）。

【定款第4条第2号事業 予算の概要】

(単位：千円)

事業項目		予算額	前年度予算額	増減
自然の中での実体験事業		12,488	10,253	2,235
内 訳	(1)自然塾	10,703	8,554	2,149
	(2)アドベンチャー講座等	1,785	1,699	86

※予備費を除く。

【収益事業等】

その他の事業1

その他、目的を達成するために必要な事業(定款第4条第3号事業関係)

(1) 関連物品販売事業

来館者の記念品・土産として図書やDVD、アウトドアグッズ等を販売する。

【定款第4条第3号事業 予算の概要】

(単位：千円)

事業項目	予算額	前年度予算額	増減
関連物品販売事業	2,022	2,394	△372